生活者ネットワーク活動報告

わくわく通信 NO.165

2020年7月16日発行　生活者ネットワーク
発行責任者　西のなお美
〒183－0023　府中市宮町 2-15-1 柏屋ビル１Ｆ
Tel042-360-4443　fax042-360-4462
Eメール fuchu-snet@ric.hi-ho.ne.jp
ホームページ http://fuchu.seikatsusha.me/
西のなお美　http://nishino.seikatsusha.me
奥村さち子　http://okumura.seikatsusha.me

長期化する新型コロナウイルスの影響から いのちと暮らしを守る施策を

奥村さち子　一般質問

感染症拡大防止を考慮した避難所対策を早急に!!

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化が懸念され、今後の災害時の避難所運営では、感染症防止対策が必須です。

市は避難所全体のレイアウトの見直しや、感染者のための専用スペースの確保などを検討中で、学校関係や福祉施設、民間施設などと避難所協定締結に向けた協議も進めていると答弁しました。スペース確保のためにはこれまで認められなかった教室の使用や感染リスクを軽減させるための段ボールベッドなどの備蓄も早急に行なうことを求めました。

府中第一中の避難所運営協議会による避難所開設訓練の様子
ダンボールベッドと仕切り

生活困窮に対する相談と支援の充実を

昨年の台風19号での避難状況の検証に加え、感染症対策を考慮し、高齢者、障がいや病気を持っている方、妊婦や乳児がいる家庭などに配慮した避難所の体制を一刻も早く整えることを要望しました。

感染症拡大の影響で暮らしの維持や住まいの確保が厳しくなり市に相談する人が激増し、新規の相談件数は緊急事態宣言前と比べて5倍に増えています。相談体制と支援策について質問しました。

国の住居確保給付金の支給対象が拡大され、家賃が支払えなくなった人などからの申請が増え、市は、職員体制を強化し相談に対応しているとのことでした。

この給付金は、住まいに困っていても国の基準により利用できない人もいます。滋賀県野洲市などでは、独自の支援策で、給付金の対象にはならない学生や、不安定雇用で減収の証明ができない人などにも支援を行なっています。

府中市でも独自の救済策をつくるとともに相談体制の質の向上と他機関や地域との連携を図ることが必要です。今困っている市民に寄り添う支援を広げるべきと訴えました。

西のなお美　一般質問

障がい者が安心して生活するための支援を

感染症拡大のなかで障がい者は、介助者が来なくなったら生活できないという不安があり、介助者もマスクや消毒液などの物資が整わない中で利用者のために介助を続けていました。障がい者の地域での生活を支えるための市の対策について質問しました。

感染症拡大の中では、通所や短期入所サービスはやむを得ず休業せざるを得ない状況があり、事業者は電話などでの相談を実施して不安解消につなげていくとの答えでした。しかし障がい者と介助者のいのちを守り、生活の質も保障するためには、個々の事業者だけに対策をゆだねるだけでは不十分です。さまざまな状況の障がい者を想定し、市が備蓄品などを備えて確実に介助ができる体制を作ることを要望しました。

新型コロナ緊急対応の補正予算が組まれました

経済支援対策や感染症の拡大防止対策として、国からの給付金なども含め約272億円の補正予算が提案され可決されました。

経済対策として、市内中小企業・小規模事業者への市独自の支援金の支給を行ないます。感染症対策としては、多摩総合医療センターでの PCR 検査運営への支援や、災害時の避難所へのマスクや消毒液の備蓄などが盛り込まれています。また小中学校への予算として、家庭学習の環境を整備する支援も盛り込まれました。インターネットを通じた学習教材の提供や機器の貸し出しなどが含まれます。

子育て世帯には「子育て応援臨時特別給付金」が支給されますが、生活者ネットワークは一刻も早い支給を求めました。休業や収入減により住まいを失うおそれのある方に、給付金の支給と相談のためのコールセンターの設置が決まりましたが、相談をフリーダイヤルにして電話代の負担を軽くしたり、メールでも対応することを求めました。

府中市の官製談合事件を受けて質疑しました

昨年度、府中市が進める公共工事の入札で市が設定する最低制限価格が、入札に参加する一部の事業者に漏れるという事件がありました。6月2日には、2人の市議会議員と市職員、業者が逮捕されるという事態になりました。事件について、議会への説明はなく、その後の対応についても新聞報道で知ることしかできませんでした。

6月議会の最終日、今回の談合事件について、議会として市長に対して説明を求めました。なぜ不正の発覚以降も工事が続行していたのか、なぜ職員が免職にならなかったのか、などの質問には、一貫して「継続中の警察の捜査に協力するため」という答えでした。

再発防止のための取り組みについて質問したところ市長からは、「再発防止の仕組みを整備し、市民の信頼を回復する責任がある」と答弁がありました。しかしその仕組みが具体的に示されることはなく、入札が公正に行なわれるために何をするのか、明確な答えはありませんでした。

市長と副市長の給与減額の案が可決されましたが、それで完結するわけではなく、議会と市民に対して事件の全容を明らかにし、再発防止の対策を進めることを求めました。

医療機関を支援するための意見書を提出

「医療機関の経営危機に対する財政支援の強化を求める意見書」が本会議で可決され、国会と政府に提出することになりました。新型コロナウイルス感染症患者の治療を担う医療機関や地域医療の経営危機に対する財政支援の強化を要望するものです。

府中市でも開業医や一般病院は、市民が受診を控えることなどから、経営が悪化しています。地域医療の崩壊を招くことがないよう財政支援を早急に行なうべきです。

今回の事件を機に「要望等記録制度」の検討を

伊藤久雄（元自治体職員）

今回の事件は、最低制限価格の教示という「官製談合事件」です。この間、公共工事をめぐる事件の大半は予定価格の漏洩でした。最低制限価格は予定価格の80%から90%程度を設定し、工事の質を確保する制度です。昨年秋の入札時には、資材や人件費の高騰で入札不調（予定価格オーバーや辞退）が続いていました。それなのに、なぜ予定価格より相当安い価格の教示を事業者が迫り、市議や職員（前部長）が応じたのかは大いに疑問です。その背景や完成した工事の質の問題などは、今後の裁判の中で明らかにしなければなりません。

市長は、今回の事件を受けて職員のコンプライアンスの徹底を図るなど、再発防止に向けた取組みに着手するとしていますが、入札システムや職員の資質の問題ではなく、行政と議会・議員との関係性が最大の問題だと私は思います。いわゆる「口利き」の問題です。

議員は市民等のさまざまな要望を受けて、行政側に働きかけます。普通は当然な議員活動の一環です。しかし、今回のような違法な教示を迫る事案もまれにみられます。そのことを防止する制度として「要望等記録制度」（名称はさまざまです）があります。議員（不特定多数の市民も対象としている自治体もあります）の要望をすべて文書に記録する制度で、情報公開の対象とするものです。記録と公開、このことによって行政と議会・議員との関係を透明化するもので、府中市においてもぜひ検討して欲しいと思います。

■学習会のお知らせ

5G（第5世代移動通信システム）とは
～5Gの電磁波と子どもたちへの影響～

今、急速にすすめられている携帯電話の次世代通信規格5Gとは何か、心配される電磁波の健康被害についてお話を伺います。

講師：上田昌文さん（NPO法人市民科学研究室）
日時：7月23日（木・祝）10:00～12:00
会場：府中市市民活動センター　プラッツ　第3会議室
参加費：無料

■わくわくまちづくりトーク

議会報告とまちづくりについての意見交換の会です。

日時：7月28日（火）19:00～
会場：府中市市民活動センター　プラッツ　第7会議室

いずれも人数制限がありますので、参加ご希望の方は、生活者ネットワークのホームページ、もしくはお電話にてお申し込みください。

問い合わせ、申し込み：府中・生活者ネットワーク
連絡先：TEL 042（360）4443
※zoomでも参加できます。参加ご希望の方は、ホームページからお申し込みください。
ホームページ：　https://fuchu.seikatsusha.me/

急速に進められる教育のICT化
格差につながらないように学びの保障を

国は、5年間の予定で進められていたGIGAスクール構想（児童生徒の学習用端末と通信ネットワークを一体的に整備する）を前倒しして進めるために2,292億円の補正予算を組みました。府中市も国に従い、市内すべての小中学校の児童生徒に家庭の通信環境を把握するためのアンケート調査を行ないました。

学校だけではなく家庭でもICTを活用した学習ができるようにとのことですが、機器はあっても、学校や家庭でICTを活用するためには大人の支援がなければ、学びの保障にはつながりません。ICTはIT技術（情報技術）にコミュニケーションの要素を付加して活用することを指します。通信機器などのハード面だけでなく、運用方法や、指導員の充実なども必要です。ICT化とともに進められる次世代通信規格5Gにおいては、子どもたちに与える電磁波の影響が危惧されます。

学校再開にはまだ感染症の不安が残りますが、これを機会に少人数学級への見直しも検討されるべきです。